

各関係機関の長  
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

平成20年度病害虫発生予察注意報第2号について  
平成20年度病害虫発生予察注意報第2号を発表したので送付します。

## 平成20年度病害虫発生予察注意報第2号

平成20年5月 9日

宮 崎 県

病害虫名 クワシロカイガラムシ

作物名 茶

1 発生地域 県下全域

2 発生時期 ー

3 発生量 多

### 4 注意報の根拠

- 1) 4月中旬の巡回調査におけるクワシロカイガラムシの発生は、発生面積率61.6%（平年値23.3%）、寄生株率32.3%（平年値8.2%）で、平年に比べ多い発生であった（図1、2）。
- 2) 平成16年以降発生面積率、寄生株率ともに高い状況が続いており、防除の緊急性が高い地域が拡大している（図3）。

### 5 防除上の注意

- 1) 防除はふ化最盛期に行う。ふ化幼虫は日が経過するにつれてロウ物質で体を覆うため、適期を失すると薬剤の効果は期待できないので注意する。
- 2) 防除適期（ふ化最盛期）は、通常では第1世代では幼虫初発の2週間後、2～3世代では幼虫初発の1週間後である。ただし、初発時期は表1のように地域やほ場によって異なるので、ふ化状況を確認してから薬剤散布を行うことが必要である。
- 3) 薬剤散布は成木園で10a当たり1,000リットル程度を、噴口を茶株の中に差し込むなどして枝幹に十分かかるように行う。
- 4) 激発園では、中切り更新して防除すると有効である。
- 5) 本種は日当たりの良い茶園の周縁部やアスファルト舗装道に面した部分に多く見られる傾向がある。今まで発生を認めていない園においても、茶園を注意して観察し、発生を確認した場合は早めに防除対策を講じる。
- 6) 防除薬剤等その他の詳細については、病害虫防除・肥料検査センター、各農業改良普及センター等関係機関に照会すること。また、農薬使用基準を遵守し、危被害防止に努めること。

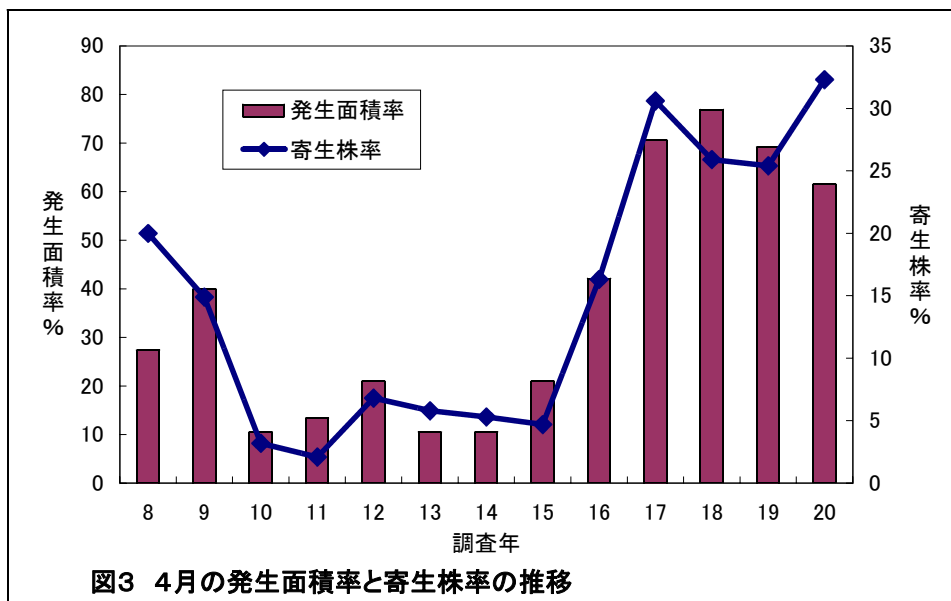
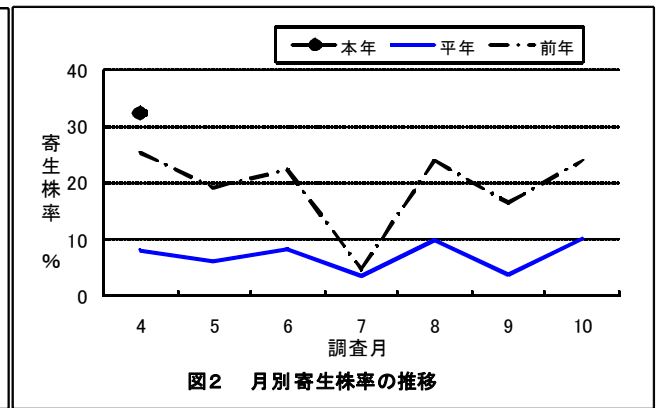
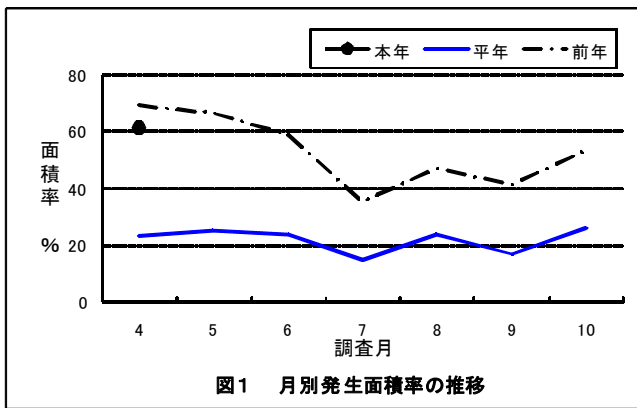


表1 クワシロカイガラムシ初発時期

地域 \ 世代	1	2	3	4
	串間	4月下旬	6月下旬	8月下旬
都城	4月下旬 ～5月上旬	6月下旬 ～7月上旬	8月下旬 ～9月上旬	10月上～中旬

《連絡先》  
 病害虫防除・肥料検査センター 加藤  
 TEL:0985-73-6670 FAX:0985-73-7499  
 ホームページ: <http://www.jppn.ne.jp/miyazaki>  
 E-mail: [byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp](mailto:byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp)